

ジャンボタニシ対策冬季耕うん実演会を開催！

～水稻のジャンボタニシ被害を軽減する管理技術の紹介～

夷隅農業事務所改良普及課 令和4年1月20日発

夷隅農業事務所では、いすみ市病害虫防除協議会と連携し、1月13日にいすみ市岬町三門地区でジャンボタニシ対策冬季耕うん実演会を開催しました。この実演会はジャンボタニシ緊急防除対策事業の一環で開催されたもので、水稻生産者等25名が参加しました。

水稻のジャンボタニシ被害は年々増加・拡大しており、体系的な防除対策が必要であることから、ジャンボタニシの生態や効果的な防除方法について農業事務所から説明しました。その後、ジャンボタニシの被害があったほ場で、越冬防止に高い効果が期待される「回転速度PTO2速、時速1.4km以下での冬季耕うん」の実演を行いました。参加者からは、「土が締まっている1回目の耕うん方法が重要である理屈が理解できた」、「PTO2速でのスピード感がつかめた」といった声が聞かれました。

今後も農業事務所では、ジャンボタニシ被害の低減に向けた支援を進めていきます。



ジャンボタニシの生態及び防除方法に耳を傾ける参加者



ジャンボタニシ対策に向けた冬季耕うんの実演の様子